

大山しゅうじ 活動レポート

編集・発行 / 〒223-0053 横浜市港北区綱島西1-6-11-301 大山しゅうじ

「住みたい、住み続けたい横浜市」を目指し、2023年も全力で頑張ります。



横浜市議員
大山しゅうじ

横浜市は「次期中期計画 2022～2025」の基本戦略に「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」と「子育て」を中心に位置付け、これまで他都市に比べて遅れていた中学校給食や小児医療費助成などを一気に前進させます。人口減少局面を迎え、生産年齢人口の減少、少子高齢化がさらに進むと想定される中、今横浜市にお住まいの方々への改善策として、そして子育て世代を呼び込む主要な取組として進め、「住みたい、住み続けたい横浜市」を目指します。

未来の横浜を担う次世代を育てていくことが、経済の活性化や税収の増、地域の担い手の確保にもつながり、それがあらゆる世代のサービス向上にもつながっていく、そのような好循環をつくっていきます。

そこで、1月27日に公表された横浜市の来年度（2023年度）予算案から、

「全員で食べる中学校給食（デリバリー方式）」と「中3までの小児医療費無償化」について明らかになったことをお知らせします。

この2つの施策は、未来の横浜を担う、次世代を育てていく

という観点から、私は必須であるとの思いで、2019年の市議選でも主要公約として掲げ、訴え、議会でも推進すべく取り組んできました。この間、**横浜市長選挙で応援した山中市長の誕生を経て、実現に向け進んでいます。**

横浜市議員 **大山しゅうじ**

TOP REPORT

「全員で食べる中学校給食」2026年度から実施へ

長年の「横浜市での中学校給食を「やる」、「やらない」の議論」に終止符を打ち、2026年度からの全校での開始に向けて供給体制の確保、配膳室の整備等を進めます。

2026年度までに、課題とされている、温かい状態での提供に向けての対応策、アレルギー対応の充実、全員で食べるからこそその食育の一層の充実等について、前進するように私も取り組んでいきます。

私は何度も試食していますが、「一度も食べたことがない、うわさしか聞いたことがない」という保護者の方も多くいらっしゃいます。全員で食べる中学校給食の取組に理解を得、よりいいものにしていくために、児童・生徒に加え、保護者（小学生の保護者も含む）、希望する市民の皆さんなどできるだけ多くの方に試食をしてもらい、ご意見を伺う機会の提供を提案して参ります。



中学校給食（デリバリー方式）は、ごはん、おかず、汁物、牛乳がセット。写真はおかずの例

CLOSE UP

中3までの小児医療費無償化 8月からスタート！ ～所得制限、一部負担金を撤廃～

小児医療費助成制度、これまで横浜市では段階的に年齢の引き上げや所得制限の緩和を進めてきましたが、来年度予算案の議決後、2023年8月から所得制限も一部負担金も撤廃し、「中3までの医療費無償化」とします。

本来は子どもの医療費のことであり、自治体間で競争させず、住む場所に関係なく国・政府が責任を持って進めるべきと考えます。

また、神奈川県も通院助成の対象を未就学児から学齢期まで拡充するなど県民、市民のために前に進めてほしい。国会議員さん、県議員さんも頑張って!!



山中市長に要望書を提出!

1月10日、山中市長に「全員で食べる中学校給食」や「中3までの小児医療費無償化」を含む「横浜市の中期計画2022～2025」をしっかりと来年度予算案に盛り込み、推進するように求める要望書を提出、意見交換をしました。



2/15
(wed)

山中市長に 代表質問をします!

2/15(水)、会派を代表して本会議で山中市長に
来年度予算案や港北区の課題について質問する
予定です。横浜市のホームページからインター
ネット中継(ライブ、録画)でご覧になれます。



OPINION

行政サービスのデジタル化

港北公会堂の予約の抽選会は、平日の朝9時に集まり、鉛筆を引く?

「港北公会堂の予約の抽選会が、平日の朝9時に集まり、そのやり方も『昔風』なんです。デジタル化の方向で検討してもらえないでしょうか?」

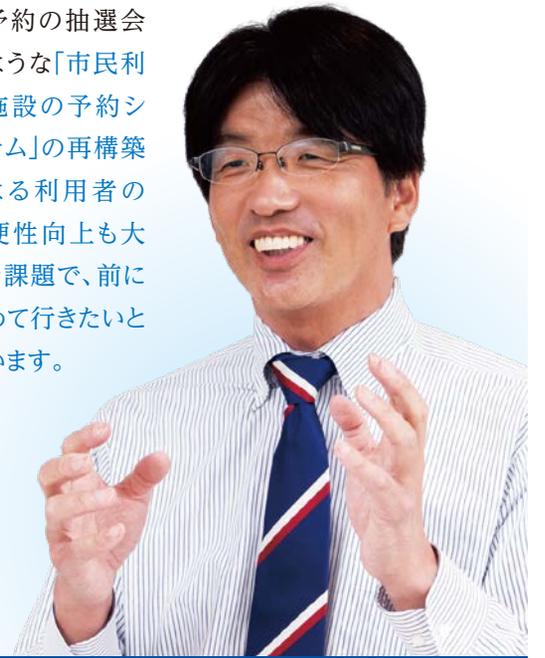
先日、ある利用者の方からそのような話があったので、実際に公会堂に行き、確認してきました。火曜日の午前9時に港北公会堂に集合し、利用したい日に利用

希望者が重なると、申込書に記入(写真①)、番号が書かれた鉛筆(写真②)をキャップで覆い、係りの人の手から一本を選ぶ、全員引いたところでキャップを外し、申し込みの優先順位を決める、という抽選方式でした。

港北公会堂の例が全て悪いと言っているのではなく、おそらく、この方法でずっとやってきた、抽選の公平性・透明性の担保、デジタルに慣れていない方々への配慮など、様々な事情、理由

がある中で従前からの方法を踏襲しているものと思います。しかし、現役世代の方にとっては、平日の朝9時に集まらなければならないのは大変ですね。

横浜市も、市民の利便性の向上のため、行政手続きのオンライン化(スマートフォン対応)をするためのシステム構築を進めています。同時に、港北公会堂の予約の抽選会のような「市民利用施設の予約システム」の再構築による利用者の利便性向上も大きな課題で、前に進めて行きたいと思っています。



電柱が移設されました!

大豆戸町と篠原北の住宅街の一方通行の道路

ルームズ大正堂さんやセブンイレブン新横浜駅東店さん辺りへの抜け道となっている狭い一方通行の道路に立っていた電柱。

地域の方から「曲がり角から距離がすぐのところにある電柱。狭い一方通行の道路で抜け道にもなっていて車の通行量も多く、車も歩行者も危険に感じる。車も私有地の壁によくこすっている。移設できないか?」と相談を受け、その地域の方と共に、NTT東日本、電柱の周辺の住民の方々にお問い合わせ、相談、調整を重ね、昨年のことですが、電柱は公道から民有地の中に移設、支線は撤去されました。

地権者の方のご理解、ご協力、そして相談のあった地域の方の粘り強い取り組みがあったからこそできたことで、感謝申し上げます。



菊名3号踏切の安全対策

カラー舗装を行い、歩行空間を確保する工事が進行中

1年前の代表質問で山中市長に菊名3号踏切(菊名1丁目)の安全対策について質問、要望。

山中市長からは「カラー舗装を行い、歩行空間を確保する工事を令和4年度内に実施する」と回答がありました。1/25現在、歩行空間を確保する工事が進行中で、踏切内のカラー舗装は完了、今後2月中には踏切周辺の道路のカラー舗装の工事が完了する予定と聞いています。



◀約1年前の様子。路線バスのルートでもあり歩行者の安全対策を要望していた。

▶踏切内のカラー舗装は東急電鉄により完了。この後、土木事務所により踏切周辺のカラー舗装の工事が行われる。(1/25撮影)



地域の話題

大山しょうじのホームページ

www.ooyama.net

連絡先/TEL.&FAX.

045-431-7047

大山しょうじのプロフィール ●1968年(昭和43年)4月10日生まれ ●京都外国語大学卒 ●大学時代、英国の青少年身体障害者施設でボランティア ●中学校英語科教諭～渡英、在英国日本大使館勤務(外務省在外公館派遣員) ●帰国～衆議院議員ひだか剛・政策秘書等 ●2003年4月、横浜市議員選挙初当選(35歳) ●2019年4月、5期目当選 ●2022年度、健康福祉・医療委員会(副委員長) ●立憲民主党所属 ●港北区篠原東在住、事務所は妙蓮寺と綱島西